

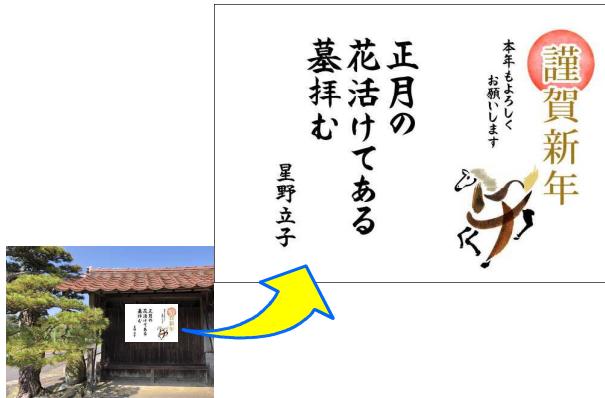


“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年1月①
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobb.jp



◆うまどしを迎えて



令和8年となりました。本年もよろしくお願い致します。

元旦には修正会として曹洞宗寺院で行われる転読大般若という祈祷法要をしました。正月祈祷であるこのお勤めは、今ここに生きている我々自身について、この一年の幸福・安寧を祈るものです。御祈祷札はお参りの皆様にお渡しました。

また、昨秋収穫し仏前にお供えしたギンナンもお渡しました。ここ数年、異常な気象のためか粒の大きさや収量を案じていました。強い生命力の象徴と言われます。どうぞご賞味ください。



本年は「うま年」です。古代インドでは、馬は四聖獸の一つとされていました。当山の涅槃図にも描かれています。

馬頭観音という観音菩薩の変化の仏様があります。古代インドに伝わる神が、馬の姿に変身し難敵を倒したとされるのがその起源だそうです。

観音菩薩といえば、柔軟な表情であるというのが一般的な認識ですが、この馬頭観音は憤怒つまり怒っている表情で描かれたり造型されたりします。怒りの激しさで苦悩や諸悪を粉碎し、馬が草を食べ尽くすように煩惱を食べ尽くして災難を取り除くのだそうです。



観音堂にお祀りしている
厨子には六觀音お揃いです
(上段中央が馬頭観音)

◆みんなで幸せを

大東小5年の「幸せ追求発表会」にお招きいただきました。保育園から高齢者施設、また様々な活動をしている方々と一緒に活動したり話しを聞いたりしたことをまとめました。

子ども達は、自分一人が幸せであることではなく、みんなと一緒に生きることの大切さ、人とのつながりが幸せの循環を生む大切さを伝えてくれました。

今月の塔婆裏文は「自利利他」。仏教の基本的な思想の一つで、その教えの実践として、自己と他者の幸福を同時に成就することを表しています。

自身の利益と他者の利益はつながっているということです。

自利利他

年始にあたり本年の幸福・安寧を心より祈念します。